

## ラグビーフットボール時の助言に関する一考察

池 田 隆 二\*

### The Words Used for Advising in Rugby Football

Ryuji IKEDA\*

(Received March 28, 1984)

The main purpose of this paper is to analyze the words used for advising in Rugby football. The words, which were used in trainings and games by 32 ruggers of the university, were collected in this paper.

According to their imports, 285 kinds of words are classified into 5 groups as follows;

1. Words to indicate the position, the direction, and the situation
2. Words for encouragement
3. Words for response
4. Words for demand
5. Words for coaching

#### I はじめに

各種のスポーツを行う場合、その時そのとき適切な助言指導を与えることの要を得ているか否かは、練習者をして、「運動を楽しく、しかも上達が早く、興味をもって」等々、運動に積極的に取り組ませるために、極めて重要な意味をもつ。

しかし、これ等運動技能を習得するための助言および教示等の言葉の中には、指導者ならびにリーダーの人格、知識、経験や意志、技術、雰囲気づくりなどの要素が含まれていなければならない。故に、練習者にとっては、運動実施の動機づけや運動の要領、特にスポーツマンシップ、さらには技術や動きを体得することなどに効果的であることはいうまでもない。この意味で、指導者は種々の運動を指導する時、適切な助言指導の言葉を豊富に準備することは、何よりも大切なことである。

そこで、本稿はラグビーフットボールにおける助言指導の言葉について考察を試みることにする。

ラグビーフットボールの競技においては、ボールを持った味方のプレイヤーより前方でプレイすることは許されない。したがって、ボール保持者が次のプレイを実施するまでには、後方にいるプレイヤーの言葉の助言指示を判断しプレイすることが多い。また、ラグビーフットボールはゲーム中、他のスポーツでみるように監督が指揮、采配を振うことは許されていない。したがって、ゲームにおける監督は、キャプテンでありプレイヤー自身なのである。

このように、ラグビーフットボールは、監督がプレイに参加できないために、日常監督の助言指導の言葉をプレイヤー間で伝達しあうことが多い。故に、ラグビーフットボールは他のスポーツに比べ、プレイヤーの言葉による行動が強く要求されるスポーツであるということができよう。しかるに、ラグビーフットボールにおける助言指導に関する研究および報告は、現在皆無の状態であるため、ラグビーフットボールの助言指導の言葉の収集を行い、分類と考察を試みることにした。

ラグビーフットボールは、往々にして指導者やリーダー

\*保健体育系列 (Department of Liberal Arts and Sciences  
—Health and Physical Education)

ーが指導時に言った言葉と、プレイヤーがプレイ中に使う言葉が同義語的な言葉を使用する場合は極めて多い。このことは、指導者やリーダーが指導時に使う言葉がプレイヤーに継承され、プレイヤーの間でゲームを優位に展開するための言葉となっており、受け継がれ実施されるのである。その意味で、指導者の適切な助言指導の言葉は、ゲームの勝敗に関係をもつ大切なものであるといえよう。

そこで、昭和 58 年 9 月 1 日～4 日の間、長野県北安曇郡白馬村で合宿中の大学ラグビー部員 32 名を対象として、日々プレイヤーに、練習や試合の時に使った言葉を、前以て調査する旨を伝え、練習や試合後にそれらの言葉を記述方法により収集した。

この記述によって、収集された言葉の総数は 764 語であり、重複している言葉を整理した結果、285 種類の言葉を収集することができた。これらの言葉を内容別に整理、分類を試みることにした。

## II 言葉の分類

収集された 285 種類の言葉は、パス、スクラム、モール、ラック、タックル等々の練習やプレイ中に使用された言葉であり、これらの言葉を内容別に整理し、次のように分類した。

### 1 位置・方向・状態を示す言葉

#### (イ)位置を示す言葉

「左（ひだり）」、「右（みぎ）」、「中（なか）」、「内（うち）」、「外（そと）」など。

#### (ロ)方向を示す言葉

「右へだせ」、「左へついた」、「外へまわれ」、「内へまわった」など。

#### (ハ)状態を示す言葉

「マイボール」、「ヤンボール」、「ダウンボール」、「右ライン」など。

これらの言葉は、短く集約され、いずれも位置、方向、状態を端的に示している言葉として分類した。

### 2 励ましの言葉

「頑張れ」、「声だそう」、「元気だせ」などは、個人やチームに活力を入れる言葉として使用されることから、励ましの言葉として分類した。

### 3 応答の言葉

「オー」、「オーライ」、「ハイヨ」などは、人の言った言葉に対する受け答え、つまり、応答の言葉として分類した。

### 4 要求の言葉

「背すじを伸ばせ」、「ボールの正面から入れ」、「低く

行け」、「フォローが浅い」、「ボールの放しが悪い」、「ボールをまたげ」、「トップでボールを取りにこい」、「ラインを立てろ」などは、或る行為を要求している。このような言葉については、要求の言葉として分類した。

### 5 指導説明の言葉

「スクラムで首を取るということは、相手の胸を見て、右肩を落し、相手の首を挟み、相手の首を下に落すことだ」というように、自分の知っていることを伝える言葉を、指導説明の言葉として分類した。

以上、収集された言葉を、内容によって整理した結果、「位置、方向・状態を示す言葉」、「励ましの言葉」、「応答の言葉」、「要求の言葉」、「指導説明の言葉」に分類することにした。

以下、収集され整理した 285 種類の言葉は次のとおりである。

#### 1 位置・方向・状態を示す言葉（90 語）

##### (イ)〈位置を示す言葉〉（52 語）

|        |       |
|--------|-------|
| 左（ひだり） | 右（みぎ） |
| 内（うち）  | 中（なか） |
| 外（そと）  | 内内    |
| 中中     | 外外    |
| ハイ右    | ハイ左   |
| 外だ外    | 内だ内   |
| ポイント   | ここだ   |
| 内に入って  | 内に入った |
| 左      | 左     |
| 右      | 右     |
| 内      | 内     |
| 外      | 外     |
| 左      | 左     |
| 右      | 右     |
| 内      | 内     |
| 外      | 外     |
| 左      | 左     |
| 右      | 右     |
| 内      | 内     |
| 外      | 外     |
| 左      | 左     |
| 右      | 右     |
| 内      | 内     |
| 外      | 外     |
| 左      | 左     |
| 右      | 右     |
| 内      | 内     |
| 外      | 外     |

##### (ロ)〈方向を示す言語〉（33 語）

こっちだ

左  
右  
内 } へついて  
外 }

左  
右  
内 } へまわれ  
外 }

左  
右  
内 } へまわせ  
外 }

左  
右  
内 } へついている  
外 }

左  
右  
内 } へ出せ  
外 }

左  
右  
内 } へまわった  
外 }

左  
右  
内 } へ浮かせ  
外 }

左  
右  
内 } へついた  
外 }

浮くな

ヒザをもっと下げろ

もう一歩出ろ

首を上げて

タメがないぞ

相手より早くセットしよう

相手の胸を見るんだ

体がくの字になっている

もっと腰を落せ

腹を出すように

ヒザを地面すれすれまで落せ

押しきろ

合わせて

頭を上げて

首を取れ

スタンスを広く

落すな

ブレイク

ポイントまで行ったらスクラムは早くセットしろ

フランカーは中に向って押せ

肩を入れろ

スクラムが高いぞ

(イ) &lt;モール・ラックに関して&gt; (32語)

低く入れ

ボールの正面から入れ

引くより押せ

バックが割れている

バックして突込むぞ

ローリングして前へ出ろ

手を切れ

バインディングして敵を切る

ためらわず突込め

入りが遅いぞ

バクレなかったら倒せ

山下が持っている

ゆっくる確実にモールをつくれ

ボールを放すな

ボールの位置を指示しろ

後からの者はかぶられた方に入っていけ

よく見てバインディングに入れ

肩で押し倒せ

反対側の者はバックに専念しろ

バックをしっかり

バックが弱い

かぶられたら軸になっている者は腰を落せ

引くな

## (イ) &lt;状態を示す言葉&gt; (5語)

マイボール

ダウンボール

右ライン

ヤンボール

左ライン

## 2 励ましの言葉 (23語)

がんばるぜ

がんばろう

いくぜ

いこうで

声だして

声だせ

声だそうぜ

声が出ていない

元気だせ

元気だして

甘えるな

ファイト

がんばれ

がんばるぞ

いこうぜ

いくぞ

声だすぞ

声だして行こう

声だそう

声がないぞ

元気だそう

気合入れていくぞ

ガッチリ行こう

## 3 応答の言葉 (6語)

オー

ハイヨ

オーライ

ハイ

ヨオー

オーケイ

## 4 要求の言葉 (165語)

(ア) &lt;スクラムに関して&gt; (28語)

背すじを伸ばせ

腰が高い

低く組め

腰を低くしろ

スクラムを低く

低くして下から突き上げよ

腕を切れ  
 突込め  
 頭から突込め  
 ボールに顔をつけてバクレ  
 手でバクラないで体を上下させてバクレ  
 出そうもなかったらモールを倒せ  
 右をめくれ  
 押せ  
 ボールを持ったらポイントをつくれ  
 (ウ) <当たりに関して> (9語)  
 当たれ  
 下から当たって突きはなせ  
 思い切って当たれ  
 相手をとばせ  
 手を伸ばしてボールを持って当たるな  
 もっと下からぶちかませ  
 当たりをもっと低く  
 いい当たりだ  
 当たりが高い  
 (エ) <タックルに関して> (11語)  
 低く行け  
 下から突き上げるようにして当たれ  
 入れ  
 タックルの時は目をつぶるな  
 足首めがけて突込んでいけ  
 敵にしがみつ引きながら自分から倒れろ  
 タックルはヒザから下へ  
 引け  
 一歩踏み込んでタックルしろ  
 ナイスタックル  
 相手のパンツを見ろ  
 (オ) <フォロー・アップに関して> (6語)  
 フォローしろ  
 フォローにつくのが遅い  
 フォローが浅い  
 フォローは深めにつけ  
 オールメンでフォローいくぞ  
 2番手が浅い  
 (カ) <バッシングに関して> (15語)  
 放せ  
 ボールの放しが悪い  
 パスが遅い  
 パスする者もっと動け  
 ラインを立ててパスしろ  
 ナイスパス  
 片手ではパスするな

ワンテンポでパスしよう  
 ハイ放して  
 背中の中から出たらすぐパス  
 スクリューパスでパスしろ  
 パスが悪い  
 相手の胸めがけてパスしろ  
 山ボールのパスはだめだ  
 メクラパスするな  
 (キ) <ピック・アップに関して> (6語)  
 低い姿勢でボールを正面でまたぐようにして取れ  
 ボールをまたげ  
 低い姿勢でボールを拾え  
 ボールは股の下で取れ  
 相手がいると思って拾え  
 顔を上げてボールを拾え  
 (ク) <キャッチングに関して> (17語)  
 ボールをもらう時はトップスピードで  
 まかせろ  
 ボールは両手でもらえ  
 取れるぞ  
 低くしっかり取れ  
 かまえて取れ  
 声だしてもらおう  
 ボールをもらう者は声を出せ  
 どちらかが声を出してもらおう  
 トップでボールを取りにこい  
 まかしたぞ  
 キャッチングはしっかり  
 取れる  
 がっちり取って  
 ボールを取ってから前を見よ  
 声出してもらえ  
 後から声を出せ  
 (ケ) <バックスの攻撃に関して> (38語)  
 ラインを立てろ  
 ショート  
 両サイドについている  
 メークライン  
 ボール出せ  
 ハリパスでまわせ  
 外へボールまわせ  
 2次ラインが浅い  
 落付いて  
 あわてるな  
 ボールを見ながらさがれ  
 早く戻れ

敵を見ろ

スタートはもう少しタメろ

相手を引きつけて

相手をよく見て

みんなにサインを伝えろ

間隔とれ

対面マーク

立てろ

ショットで入り立てろ

オープンにこい

出して

まわせ

早くボールまわせ

ラインを深く

オンサイド

あせるな

ブラインドにふれ

最後まで走れ

流れるな

ボールを持ちかえるな

ディフェンスはスタンドに合わせてスタートせよ

ハーフ、ここだ

セオリーを忘れるな

状況に応じて対処せよ

ウイングはもっと引っぱれ

スタンドを走らせすぎるな

### 5 指導説明の言葉（3語）

スクラムは低くて長いのが良い、ロックはブロップに体重をかけ、ヒザをあまり屈けないで伸ばすと長いスクラムになる。

スクラムで首を取るということは、相手の胸を見て、右肩を落し、相手の首を挟み、相手の首を下に落すことだ。

フッキングは脚を早く出して、引く時も早く引くと良いボールが出る

## III 考察

ラグビーフットボールの技術習得にあたっては、本稿で分類（位置・方向・状態を示す言葉、励ましの言葉、応答の言葉、要求の言葉、指導説明の言葉）した言葉を適切に使いわけ、助言指導することが肝要である。

これらの運動技術の習得に際しては、指導者が実施しようとする運動の方法を説明示範し、それを練習者が練習して、その結果熟達できない所を、更に補足説明をし、それを重複練習させることが普通である。この場合、実施しようとする運動を説明する時の言葉は、技術習得のための、俗に言う勘でなく、科学的な理論を感得させ

る言葉とならなければならない。

例えば、「あの人の指導は、わかりやすく上達も早い」と賞賛される指導者は、指導説明の助言指導に熟達した人であるといえることができる。

本稿では、指導説明としての言葉は、3つ収集されたのみであったが、実際の練習やプレイ中に、プレイヤー同士が大いに指導説明を仕合うことがスポーツ技術習得のための、理論と実施の統一的展開を容易にすることになるのではなからうか。

例えば、ラグビーフットボールで、ボールは両手で持て」という言葉は、ラグビーフットボールを行う者の常用語である。ボールを両手で持てということは、先に分類した要求の言葉にとどまるものであるが、ボールを両手で持つことは、(1)ボールを落さない（ノックオンしない）、(2)いつでもパスする体勢ができていて、(3)相手とコンタクトの時はボールコントロールがしやすい、という指導説明の言葉を加えれば、一層プレイヤーの理解が深まるのである。

また、「ボールの奪い合い」で、ボールを取る方法には、(1)体をゆさぶってボールを取る、(2)ショルダーダウンを使って自分の体重でボールを取る、(3)ボールを意識的に上方に押し上げると、相手は下方に落そうとする、その時のタイミングを利用してボールを取る。という指導説明が加われば、プレイヤーは只単に勘に頼らず、科学的な方法を感得することになり、技術の上達も早く、しかも確実となる。

以上、指導説明の言葉は、運動技術習得のための助言指導に、重要な役割を来すものであるが、注意しなければならないことは、只単に多くの説明を加えればよいということではなく、その説明はポイントをとらえ、出来るだけ短い言葉に集約されることが、スポーツを行う場合の助言指導のポイントであって、指導説明の言葉を豊富に持った指導者こそ、優れた指導者であるといえることができる。

## IV むすび

ラグビーフットボールの練習や試合の時に、プレイヤーの間で使われている言葉を収集し、それらの言葉を「位置・方向・状態を示す言葉」「励ましの言葉」「応答の言葉」「要求の言葉」「指導説明の言葉」に分類し、2・3の考察を試みた。このような助言指導の言葉が、プレイにどれだけ影響を及ぼすか、それに対して如何に助言指導の言葉を考慮するか等については、今後の研究課題として取り組みたい。

終りに、本研究課題にご理解とご指導をいただきました、本学保健体育系列井上俊教授に感謝いたします。